

2012年度環境報告書

1. 適用対象事業所の概要

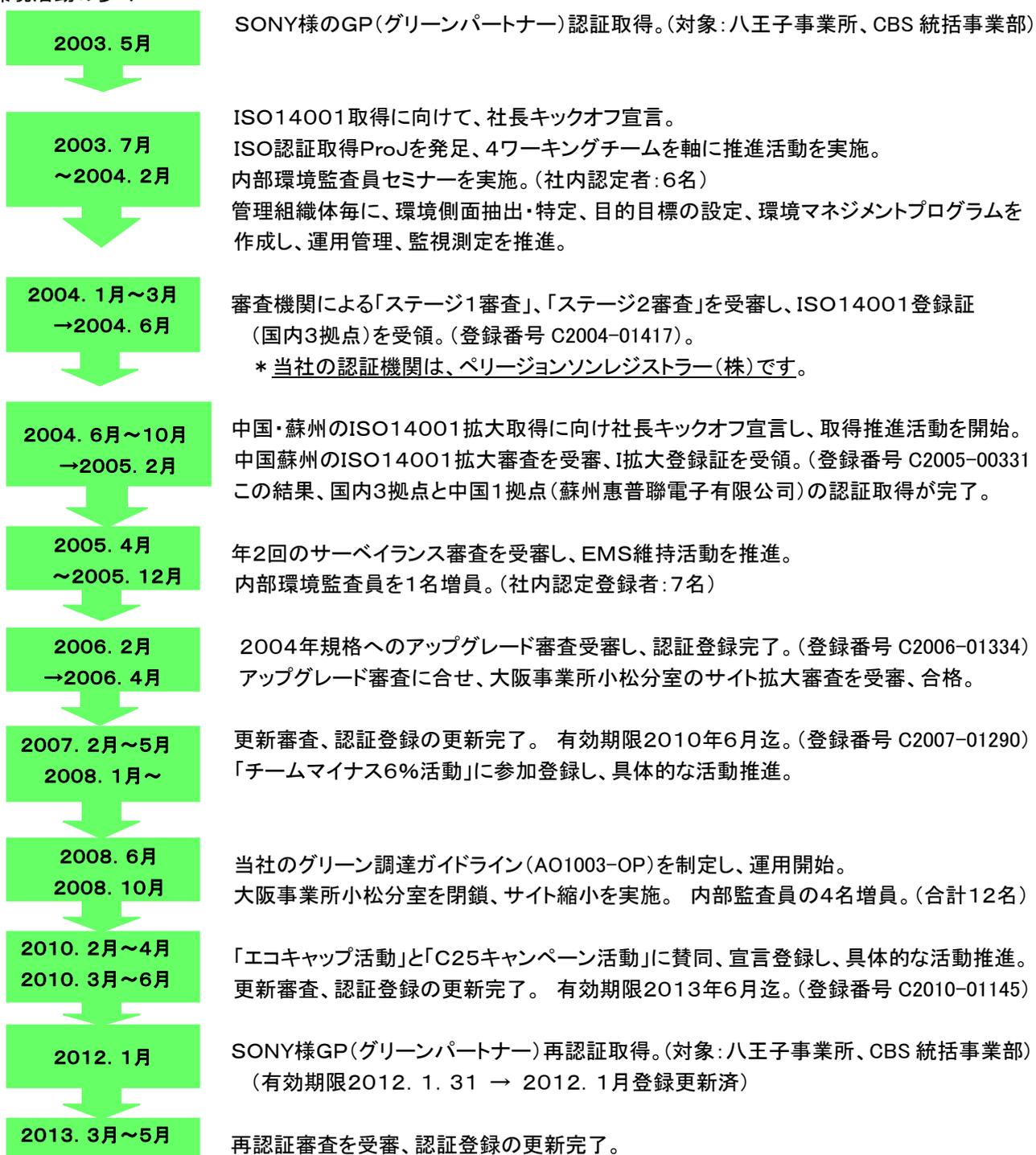
当社は、下記の国内3事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称し、4管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

[適用事業所]

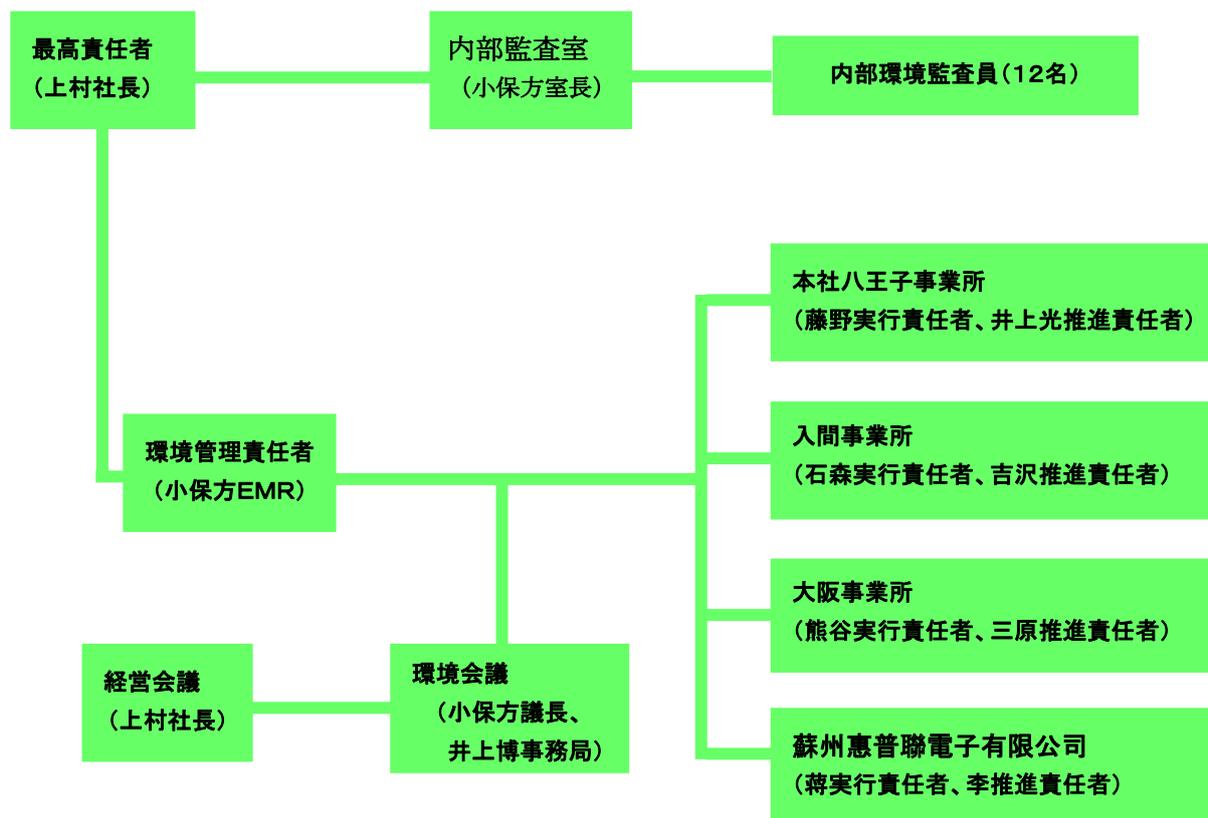
a. 本社、八王子事業所 b. 入間事業所 c. 大阪事業所 d. 蘇州惠普聯電子有限公司(中国江蘇省)

2. 環境保全への取組み

1) 環境活動の歩み



2) 環境管理組織(2012年度)



3) 環境方針(2012年度)

<p>環境方針</p> <p>環境理念</p> <p>私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。</p> <p>環境方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータバスシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減を行い、環境負荷の軽減に努めます。 2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取組み、有害物質の使用を避け、RoHS適合製品の提供を推進（鉛フリー等）し、有益な環境側面の創出に努めます。 3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。 4. 法規則、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。 5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。 環境パフォーマンスの向上のため、定期的なレビューを行い、環境管理システムの改善活動を推進します。 6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。 また、社外からの人々の要求に対して、開示します。 <p style="text-align: right;">制定 2012年 04月 01日</p> <p style="text-align: center;">エブレン株式会社 代表取締役社長 上村 正人</p>

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2012年度のISO14001EMS活動は、引き続き2004年規格のマネジメントシステムの運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動へ継続的に取り組みました。

推進のポイントは従来同様、継続的に、1つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、2つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS指令等に適合した製品創出活動、3つ目は快適な職場環境の改善実現活動及びオフィス環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。本年度も環境省のチャレンジ25キャンペーン活動に登録し、東日本大震災の電力需給逼迫問題を教訓とし、「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を推進して、電力使用量の削減及びCO2の削減に努め、特に、今期は基本電気料金の基となる“最大需給電力値の抑制管理”に注力しました。

更に、継続的に廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取り組み、プラスの成果を得ました。

引き続き、著しい環境側面を踏まえ、有益な環境側面の創出活動を主軸にした環境管理への取り組みを経営方針の1つとし、事業活動との融合を図り、環境管理費用の低減と環境保全活動を推進しております。

5) 2012年度の実績評価

①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現 (HHdiv:モデル工場)	HHdiv	12件の改善実行[5Sの実行]	12件改善完了	○	100%
	HHdiv	8.0件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	10件改善完了	○	125%
	HHdiv	48件の改善実行[変種変量製造ライン]	49件改善完了	○	102%
	IPlant	24件の改善実行	27件改善完了	○	113%
	Odiv	24件の改善実行	50件改善完了	○	208%
RoHS対応製品の供給	SZE	部品24件以上	24件完了	○	100%
RoHS対応製品の供給(鉛フリー化推進)	SZE	0.13kg以下	0.04kg	○	31%
資源枯渇抑制(廃棄物/ガソリン/電力)	Odiv	180,000円以下	324,332円	×	180%
	IPlant	119,988円以下	50,015円	○	42%

②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
RoHS対応製品の供給(鉛フリー化推進)	HHdiv	47.75kg以下	38.20kg	34.79kg	91%	○
	HHdiv	80.0%以下	100.0%	100.0%	100%	○
	IPant	14.14kg以下	11.31kg	8.30kg	73%	○
	Odiv	1.25kg以下	1.00kg	1.00kg	100%	○
資源枯渇抑制(ガソリン)	HHdiv	9.68km/ℓ以上	12.10km/ℓ	12.37km/ℓ	102%	○
	IPlant	7.44km/ℓ以上	9.30km/ℓ	9.39km/ℓ	101%	○
	Odiv	7.89km/ℓ以上	9.86km/ℓ	11.19km/ℓ	113%	○
資源枯渇抑制(電力使用量)	HHdiv	203,243kWh以下	162,594kWh	169,241kWh	104%	△
	IPlant	132,125kWh以下	105,700kWh	101,759kWh	96%	○
	SZE	33,774kWh以下	27,019kWh	29,403kWh	109%	△
	Odiv	135,688kWh以下	108,550kWh	96,108kWh	89%	○
資源枯渇抑制(最大需給電力)	HHdiv	-	839kw	879kw	105%	-
	IPlant	-	790kw	730kw	92%	-
	Odiv	-	714kw	671kw	94%	-
資源枯渇抑制(廃棄物)	HHdiv(一般)	400.0kg以下	320.0kg	400.0kg	125%	×
	IPlant(一般)	250.0kg以下	200.0kg	150.0kg	75%	○
	Odiv(一般)	906.3kg以下	725.0kg	205.0kg	28%	○
	HHdiv(産業)	3,147.5kg以下	2,518.0kg	3,020.0kg	120%	△
	IPlant(産業)	827.5kg以下	662.0kg	1,450.0kg	219%	×

	Odiv(産業)	1,525.0kg以下	1,220.0kg	548.0kg	45%	○
	Odiv(ダンボール)	1,026.9kg以下	821.5kg	1,012.0kg	123%	△
	HHdiv(有価)	-	33,838円	33,051円	98%	-
	IPlant(有価)	-	35,929円	35,680円	99%	-
	Odiv(有価)	-	84,900円	30,375円	36%	-
資源枯渇抑制(用紙)	HHdiv	325,000枚以下	260,000枚	286,000枚	110%	△
	SZE	31,250枚以下	25,000枚	24,500枚	98%	○
資源枯渇抑制(水道)	HHdiv	510m ³ 以下	408m ³	380m ³	93%	○
	IPlant	171m ³ 以下	137m ³	93m ³	68%	○
	Odiv	445m ³ 以下	356m ³	326m ³	92%	○

③電力使用量とCO2削減成果(スーパークールビズ活動/ウォームビズ活動)

項目/部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	国内計	SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	83,170	45,360	69,518	198,048	-5,110	192,938
削減経費(円)	1,964,175	1,065,331	1,639,465	4,668,971	-118,742	4,550,229
削減CO2(Kg)	28,195	15,377	23,567	67,138	-1,732	65,406

④3R活動の成果

項目/部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計
全体排出量(kg)	4,784.0	2,888.2	1,203.0	8,875.2
有価物分別量(kg)	1,364.0	1,268.2	450.0	3,082.2
有価物割合(%)	28.5%	43.9%	37.4%	34.7%
有償換金(円)	33,051	35,680	30,375	99,106

⑤エコキャップ収集活動の成果

項目/部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計
収集量(Kg)	22.4	11.1	8.9	42.4
収集量(個数)	9,467	4,611	3,671	17,749
ワクチン(人分)	11.8	5.8	4.8	22.2
削減CO2(Kg)	76	37	29	142

6) 外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査			
		HHdiv	IPlant	Odiv	SZE
対象部門	全社4部門				
監査期日	13.02.26/13.03.05~06	12.10.16	12.10.30	12.10.23	12.06.14
監査結果(不適合/要観察/コメント)	1件/2件/4件	0件/0件/1件	0件/0件/1件	0件/0件/1件	0件/0件/1件
改善処置期限/完了	◎	◎	◎	◎	◎

7) 2013年度の主な取り組みテーマ

- a. 継続的に、チャレンジ25キャンペーン活動や各種エコ活動への賛同活動を推進いたします。
(スーパークールビズ活動、ウォームビズ活動の一層の定常的推進)
- b. 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にした活動に
進化させ、その成果を他事業所に有効展開を図り、継続的に環境品質パフォーマンス向上に努めます。
- c. 資源枯渇に着眼し、滞留資産の発生抑制と生産財の無駄な廃棄削減の監視・改善活動を推進いたします。
- d. 有益な環境側面の創出活動を主軸に、継続的にパフォーマンス向上の環境管理活動を推進いたします。
- e. 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に推進いたします。